

協機工業股份有限公司 CSRレポート

事業内容: 低・高圧ホースの生産・販売、ホースアッセンブリーの販売
敷地面積: 30,464m²
従業員数: 118人(2009年6月末現在)
所在地: 99 Hsiyuan Rd, Jungli Ind. Park, Jungli City, Taoyuan, Taiwan R.O.C
 TEL+886(3)451-4015



社長ご挨拶



谷村 博史

協機工業は、台湾国内に2工場を持ち低圧・高圧のゴムホースを製造しています。環境については、早くから経営の重要な柱として、2001年にISO14001の認証を取得し、地域の一員として環境負荷低減のための活動を行ってきました。具体的な活動として、製造ではホースをつくるために必要なマンドレル、加硫時の被覆材(モールド)などの補助材料のリサイクル化や、エネルギー効率をアップさせるための設備改善を推進しています。

商品開発ではガスの透過を極小にする内面樹脂タイプホースの市場投入などを進めてきました。2007年からは、環境と共に重要な労働安全衛生の管理システムであるOHSAS18001を取得し、品質規格である

2009年度環境方針

- (1) 全員の参加と努力で環境汚染と労働災害予防活動を行う。
- (2) 環境管理システムと安全管理システムにより環境汚染と労働災害発生を防止する。
- (3) 法律に従い規制の要求値を守り改善を行う。
- (4) 6S活動を実行して環境整備を進める。
- (5) 環境に貢献する商品開発を行う。

ISO9001を加えた3つのマネジメントシステムを活用し「人と地球に優しい製品づくり」を従業員全員参加で行っています。今後も横浜ゴムの中期経営計画「GD100」のスローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるべく努力していきます。

主な地域との交流活動

2009年1月に従業員約30名が苗栗工場周辺の工業区道路および廟*を、2月には約40名が中歴工場周辺の工業区道路を清掃しました。2009年9月からは、苗栗県政府が主催する海岸線の清掃活動に参加する予定です。また、教育支援の一環として苗栗中興小学校に環境教育補助金の寄付を継続して行っています。

*工業団地内にある会社呼びかけ、土地の神様を祀る廟を建設しました。



清掃活動を行う従業員



集めたゴミと記念撮影

環境リスク対応

危険予知訓練

2009年4月、危険予知訓練を行いました。単に安全のみならず、環境や品質までの幅広い範囲で実施しています。



危険予知訓練の様子

環境データ (年度は2008年度は1～12月、2006年度、2007年度は4月～3月)

項目	2006年度	2007年度	2008年度	
廃棄物発生量(トン)	175	152	247	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	781	768	1,176
	燃料	3	3	205
	合計	784	771	1,381
温室効果ガス排出量(千トン-CO ₂)	1.6	1.6	2.7	
水使用量(千m ³)	14	10	9.1	

*2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:0.51kg-CO₂/kWhを使用

*2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用